

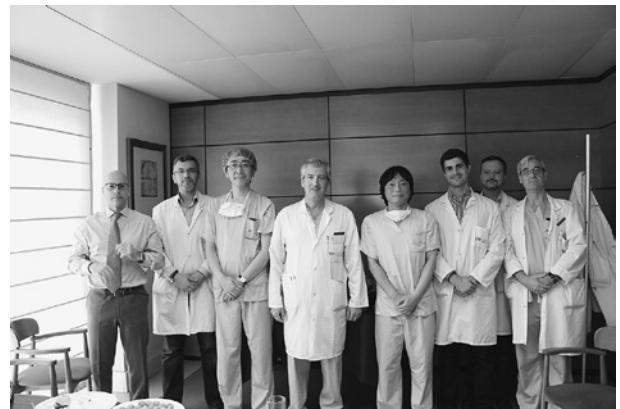
2015 JUA/EAU Academic Exchange Programme 参加報告

三 塚 浩 二 (東北大)

今回九州大学の武内在雄先生とともに EAU-JUA academic exchange programme に選抜され、Madrid で開催された the 30th EAU annual meeting に参加した。プログラムは学会への参加とともに、学会の約1週間前からマドリッド近郊の2つの病院を見学する内容だった。EAUには過去何度か参加しているが、海外の病院の見学は初めての機会であるとともに、サッカーファンである私にとってマドリッドへの訪問は大きな期待を抱かせるものであった。

最初に Hospital Universitario Fundación Alcorcón を見学した。手術は HoLEP に始まり、TUL, Green light laser による PVP, 口腔粘膜を用いた尿道形成術、腹腔鏡下膀胱全摘術など非常にバラエティに富んだものであった。私自身はあまり経験のないものもあったが、どの手術も洗練されておりスペインの泌尿器科医の卓越した技術を目の当たりにすることができた。また朝と午後のカンファではスタッフの先生方の EAU の発表についての discussion があった。その中に前立腺癌の active surveillance の話題があり、私の EAU の演題も日本の active surveillance の現状についてのテーマだったため、ヨーロッパと日本における active surveillance の現状について活発な議論をすることができた。夜は Prof. C. Llorente Abarca と奥様、スタッフの先生方と食事を共にし、格式のあるレストランだけでなく大衆的なバルにも連れて行っていただき、academic だけでなく文化的な交流もすることができた。特にスペインは魚料理とワインが大変おいしいこととスペイン独特のスタイルであるバルの楽しさは特筆に値し、その後最終日まで日本の同僚と様々なバルをめぐることとなった。

2つめは Hospital Universitario Infanta Sofia を見学した。偶然だと思いがここでも手術は尿道形成であった。Prof. L. Martínez-Piñero は尿道形成に大変精通し EAU でも尿道形成の course を担当しており、手術だけでなく詳細なレクチャーを受けることができた。午後は共同研究を行っている近隣の研究所を見学した。Prof. L. Martínez-Piñero は膀胱癌に対する BCG 注入療法について以前から大変多くの業績を残されているが、臨床だけでなく基礎研究についても積極的に興味を持ち、研究者達と活発に議論しているのを見て感銘を受けた。夕方からは私の大きな楽しみのひとつであったリアル・マドリッドのホームスタジアムであるサンチアゴ・ベルナベウの見学ツアーに連れて行っていただいた。今回の期間中にリアル・マドリッドの試合を見ることはできなかったが、ツアーでは過去のリアル・マドリッドの輝かしい栄光の軌跡や、歴代の



スーパースターのプレイを見ることができ興奮した。どちらの病院でも教授はじめスタッフの先生方からも積極的に声をかけていただき、私たちも戸惑うことなくスムーズに見学や discussion に加わることができた。

学会期間中の日曜日の夜には Friendship dinner に招待され参加した。最初はタキシードに蝶ネクタイ姿の高名な先生方に囲まれ、正直かなり場違いで気まずい思いをしていたが、突然壇上に招かれ皆さんの前で紹介されるとともに立派な盾をいただいた。その後は多くの方から“Congratulation!”と声をかけてもらい一緒に写真を撮り、感動的な夜を過ごすことができた。期間中は残念ながらスペインらしからぬ天気の日が続いたが、そんなことを忘れるくらい今回の EAU-JUA academic exchange programme はよくオーガナイズされており、私たちは素晴らしい経験をさせていただくとともにマドリッドでの滞在を十分楽しむことができた。

最後に、今回のこのプログラムの作成や実行に関わった EAU および JUA の関係者の方々、私たちを快く迎えてくださった Prof. C. Llorente Abarca と Prof. L. Martínez-Piñero およびそのスタッフの方々に心から謝意を表したい。